



令和3年8月19日

教育環境改善に関する請願書

印西市議会議長 中澤 俊介 様

請願者 印西市・学校適正配置を考える会
代表 大野 裕行
住所 印西市
連絡先

(要旨と理由)

印西市・学校適正配置を考える会を発足して七ヶ月。船穂小学校統廃合の問題から立ち上がった私たちは、一つの小さな小学校の問題にとどまらず、印西市全体の教育環境問題であるという認識のもとに活動してまいりました。

そして様々な人と出会い、対話する中で、過大規模校にこそ大きな課題があることに思いが至りました。先生方の目が行き届かず、つまずいたまま立ち上がる機会を失い、心と身体を痛める子どもたち。グラウンドや特別教室の使用に制限がかかり、体験学習の場が少ない環境の子どもたち。非常事態時に体育館に全校児童が避難できず、雨の中グラウンドで待機したという事例に象徴される、子どもたちの命を守ることさえままならぬ過密化した環境。このような状況をこのまま見過ごしていいものでしょうか。

印西市は、利便性と自然が両立したとても魅力にあふれた街です。この魅力に魅せられた多くの方々が、ここで子どもを育てたいと願い、印西市を住まいとして選んできました。私たち大人の責務は、印西市に住む全ての子どもたちの命を守り、印西市の歴史・文化・魅力を次世代に伝え、健やかに成長できるよう環境を整えることです。

世界的な感染症の流行により、わたしたちの日常は一変し、かきまわされ、混乱しています。未曾有の自然災害、さらなる感染症の流行など、子どもたちの未来は予測しがたいさまざまな困難に満ちています。そんな状況下であっても、命を守り、人と人との温かいつながりを維持できる教育環境とは、地域の中心に在る、地域に守られた、地域と共にある学校の適正な規模に他なりません。

過小規模・過大規模の問題を速やかに解消することは喫緊の課題です。大人数の中で揉まれながら学校生活を送りたい子、少人数の中できめ細やかな指導を必要とする子、いろんな子どもがいるから、いろんな学校があればいい。この思いを胸に「学校を選べる選択肢を増やす」為の署名活動を積み重ねてきました。

学校は地域コミュニティの核としての重要な役割を持っています。現存する小規模校、大規模校の規模と特色を最大限活用し、適正に配置されるための未来を実現するために、私たちの考えに賛同して下さった「10,483」人という多くの方たちの声が、今ここに集まりました。

子どもたちのために、大人と子ども、地域と学校が手を携え、よりよい教育環境、よりよい印西市を創っていくために、以下の3点を要望いたします。

- 1, 小規模特認校制度を導入し、過小規模の解消
(希望者は学区に関係なく、特認校に指定された小規模校に就学する事が出来る)
- 2, スクールバスを運用した柔軟な学区外就学を実施し、過大規模の解消
(受入れ可能な小規模校への通学手段を整え、過大規模校の教育環境改善と適正規模化を図る)
- 3, 「過小規模を解消し小規模校の存続」と「過大規模を解消し大規模校の適正規模化」

全国的にみられる少子化問題、学校用地取得の困難から、早急な学校施設の新設が望めない現状を踏まえると、通学路の安全確保・対策を考えた、スクールバスを運用した通学手段は今後不可欠です。いち早く取り入れることで、これから移り住もうとしている子育て世代の方達にも住みやすい街「印西市」のアピールになるのではないのでしょうか。私たちの思いが届き、採択していただける様お願いいたします。

紹介議員

米 井 重



賛同議員

小 川 利



令和3年8月19日

要 望 書

印西市長 板倉 正直 様

要 望 者	印西市・学校適正配置を考える会
代 表	大 野 裕 行
副 代 表	別 所 香 苗
住 所	印 西 市
連 絡 先	

先日は悪天候の中、当会主催の「INZAI SUMMER FES.2021」にお越しいただき、ありがとうございました。市長のサプライズ登場に会場全体が華やぎ、集まった皆さんの笑顔があふれました。

印西市・学校適正配置を考える会を発足して七ヶ月。船穂小学校統廃合の問題から立ち上がった私たちは、一つの小さな小学校の問題にとどまらず、印西市全体の教育環境問題であるという認識のもとに活動してまいりました。

そして様々な人と出会い、対話する中で、過大規模校にこそ大きな課題があることに思いが至りました。先生方の目が行き届かず、つまずいたまま立ち上がる機会を失い、心と身体を痛める子どもたち。グラウンドや特別教室の使用に制限がかかり、体験学習の場が少ない環境の子どもたち。非常事態時に体育館に全校児童が避難できず、雨の中グラウンドで待機したという事例に象徴される、子どもたちの命を守ることをさままならぬ過密化した環境。このような状況をこのまま見過ごしていいものでしょうか。

印西市は、利便性と自然が両立したとても魅力にあふれた街です。この魅力に魅せられた多くの方々が、ここで子どもを育てたいと願い、印西市を住まいとして選んできました。私たち大人の責務は、印西市に住む全ての子どもたちの命を守り、印西市の歴史・文化・魅力を次世代に伝え、健やかに成長できるよう環境を整えることです。

世界的な感染症の流行により、わたしたちの日常は一変し、かきまわされ、混乱しています。未曾有の自然災害、さらなる感染症の流行など、子どもたちの未来は予測しがたいさまざまな困難に満ちています。そんな状況下であっても、命を守り、人と人との温かいつながりを維持できる教育環境とは、地域の中心に在る、地域に守られた、地域と共にある学校の適正な規模に他なりません。

過小規模・過大規模の問題を速やかに解消することは喫緊の課題です。大人数の中で揉まれながら学校生活を送りたい子、少人数の中できめ細やかな指導を必要とする子、いろんな子どもがいるから、いろんな学校があればいい。この思いを胸に「学校を選べる選択肢を増やす」為の署名活動を積み重ねてきました。

学校は地域コミュニティの核としての重要な役割を持っています。現存する小規模校、大規模校の規模と特色を最大限活用し、適正に配置されるための未来を実現するために、私たちの考えに賛同してくださった「10,483」人という多くの方たちの声が、今ここに集まりました。

子どもたちのために、大人と子ども、地域と学校が手を携え、よりよい教育環境、よりよい印西市を創っていくために、

- 1, 小規模特認校制度を導入し、過小規模の解消
- 2, スクールバスを運用した柔軟な学区外就学を実施し、過大規模の解消
- 3, 「過小規模を解消し小規模校の存続」と「過大規模を解消し大規模校の適正規模化」

を要望いたします。八街市のような痛ましい事故を二度と起こさないためにも、スクールバスを運用した通学手段は今後不可欠です。いち早く取り入れることで、これから移り住もうとしている子育て世代の方達にも住みやすい街「印西市」のアピールになるのではないでしょうか。どうか市長のお力をお貸しください。私たちの思いが届きますことを切に願っております。

学校を選べる 選択肢を増やす 為の署名

印西市長 板倉正直 様

印西市・学校適正配置を考える会
代表 大野 裕行

過大規模校・過小規模校の差から生じる諸々の課題は、印西市全体に関わる教育問題です。過大規模化・過小規模化を同時に解消し、人間の一生を通じての成長と発達の基礎作りに重要な義務教育を、より良い教育環境で学ぶ為に以下を強く要望いたします。

① 小規模特認校制度を導入し、過小規模の解消

(希望者は学区に関係なく、特認校に指定された小規模校に就学する事が出来る)

② スクールバスを運用した柔軟な学区外就学を実施し、過大規模の解消

(受入れ可能な小規模校への通学手段を整え、過大規模校の教育環境改善と適正規模化を図る)

③ 「過小規模を解消し小規模校の存続」と「過大規模を解消し大規模校の適正規模化」

子どもたちのより良い教育環境をつくるために、ここに署名を添付して提出します。

	氏名	住所(代筆、同上、〃など省略は不可)
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		

【取り扱い団体名】()

署名いただいた個人情報は本署名活動以外に利用しません。

※裏面もご覧ください。↓

はじめよう！！

子どもにとっても **住みやすい街** 印西市



印西市・学校適正配置を考える会
代表 大野 裕行

～すべての子どもたちが主役になれる、学校を選べる選択肢を増やすために～

小規模校の船穂小学校では児童数の減少が進み、教育委員会は、早ければ令和4年4月に高花小学校と統合の方針です。その一方で過大規模校の小倉台小学校・原小学校では、教室の増築で教育環境が劣化。今後牧の原小学校が過大規模校化していきます。

印西市・学校適正配置を考える会は、小規模校・過大規模校に生じている諸処の問題を、印西市全体の学校配置の課題であると考え、より良い教育環境の実現を目指して、保護者・教育関係者・保育園経営者・地域の人々により設立されました。

小規模校の船穂小学校は、一人一人に目の行き届くきめ細やかな学習指導、誰もが主役になれる学校生活、異学年の温かい交流、一人一台のタブレットを活用した学習のいち早い導入など、豊かな学びの場を提供するとともに、地域の方々のご支援・ご協力により、ふなほ祭り・稲刈り・梨の収穫体験など、豊かな自然教育・社会教育が行われています。また、149年という長い歴史を持ち、多くの子ども達が巣立った学校は地域の交流の場にもなっています。

一方で過大規模校の小倉台小学校では、きめ細かな指導が困難であり、校庭を使える面積の制約を受けるほか、体育館・プールの利用回数も制約されています。また、入学式・卒業式に全校生徒の参加ができないばかりか、運動会で運動場の周りに居られるのは自分の子が出場する時間だけという、教育環境になっています。

船穂小学校のような伝統ある小規模校は存続させて、より良い教育・地域環境を守り育てるとともに、小倉台小学校のような過大規模校の解消を図るために、次の事を印西市に強く要望します。

- ① 小規模特認校制度を導入し、過小規模の解消
- ② スクールバスを運用した柔軟な学区外就学を実施し、過大規模の解消
- ③ 「過小規模を解消し小規模校の存続」と「過大規模を解消し大規模校の適正規模化」

ご家族や職場等お知り合いの方へも呼びかけていただき、一人でも多くの方が署名活動にご協力いただけますよう、よろしく願い申し上げます。※年齢・居住地問いません。

HPはこちら↓

署名期間 令和3年5月5日～8月31日



郵送先（その他方法はお問い合わせください）

印西市・学校適正配置を考える会 事務局

住所：〒270-1343 印西市結縁寺 413-6

電話：080-3124-2992 ✉inzaitekisei@gmail.com

※裏面もご覧ください。↓